

「新しいくまもと創造に向けた基本方針」(素案)等について

県では、新たな県政運営の基本方針として「新しいくまもと創造に向けた基本方針」の素案を取りまとめました。

これは、令和2年度から令和5年度の4年間を計画期間とし、新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越えるとともに、2つの災害からの創造的復興を熊本の発展につなげ、地方創生を実現するため、重点的に推進する主な取組みの方向性を明らかにしたものです。

【基本理念】

熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え、「新しいくまもと」を創造する。

【基本方針の柱】

基本理念を踏まえ、重点的に推進する主な取組みを県民の皆様にお示しするため、以下の4つを「基本方針の柱」と位置づけました。

- 令和2年7月豪雨からの創造的復興
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応
- 熊本地震からの創造的復興
- 将来に向けた地方創生の取組み

なお、本基本方針の検討に当たり、広く県民の皆様方からご意見を募集するため、「県政に係る意見募集(パブリック・コメント)」を実施します。

また、本基本方針とともに検討を進めてきた、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案及び「熊本県人口ビジョン」の改訂素案についても、併せてご意見を募集します。

今後、いただいたご意見を反映の上、次期県議会定例会に向けて策定を進めていきます。

1 ご意見募集の期間

令和2年(2020年)12月25日(金)から令和3年(2021年)1月23日(土)まで

2 素案の掲載(閲覧)場所

- (1)熊本県ホームページ(<https://www.pref.kumamoto.jp>)
- (2)熊本県企画振興部企画課(行政棟本館6階)
- (3)各広域本部・地域振興局総務(振興)課(県内10カ所)
- (4)熊本県庁情報プラザ(行政棟本館1階)
- (5)くまもと県民交流館パレア(テトリア熊本ビル9階)
- (6)熊本県立美術館本館及び分館
- (7)熊本県立図書館
- (8)熊本県立大学

【お問合せ先】熊本県 企画振興部 企画課 戦略推進班 清崎、朝永
TEL : 096 - 333 - 2019(直通) 内線 : 3627
FAX : 096 - 382 - 4066
メール: kikaku@pref.kumamoto.lg.jp

基本理念

「熊本地震と令和2年7月豪雨からの社会的変容を復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の創造する。」

基本方針

新しいくまもと創造に向けた基本方針

1 令和2年7月豪雨からの創造的復興

【取組みの方向性】

愛する地域で誰もが安全・安心に住み続けられ、若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現を目指すとともに、県下全域においても災害に強い郷土づくりに取り組む。

施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

施策2 県下全域で取り組む災害に強い郷土づくり

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

【取組みの方向性】

感染拡大防止と大きな打撃を受けた県経済や県民生活の回復とのベストバランスを図るとともに、社会の変容を好機と捉え、熊本の更なる発展につなげる。

施策1 感染症対策の体制強化

施策2 持続可能な社会の実現

施策3 持続可能な経済活動の実現

3 熊本地震からの創造的復興

【取組みの方向性】

熊本地震からの創造的復興の総仕上げに向け、残された課題を確実に解決し、熊本の更なる発展につなげる。

施策1 暮らし・生活の再建

施策2 創造的復興の推進

4 将来に向けた地方創生の取組み

【取組みの方向性】

このような情勢下においても着実に進めていく必要のある施策について、必要性や優先順位を見極めながら地方創生の実現につなげる。

施策1 次世代を担う人材の育成

施策2 若者の地元定着と人材育成

施策3 安全・安心な社会の実現

施策4 魅力ある地域づくり

球磨川流域における緑の流域治水の推進

水俣病問題

総合戦略

第2期 熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略

主な取組み	主なKPI(調整中)
施策1 ・被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み	調整中
施策2 ・国土強靱化に向けた取組み (道路、河川等の整備・強靱化、地域防災力向上、企業等BCP等策定促進) ・幹線道路の整備	・幹線道路の整備進捗率 ・土砂災害特別警戒区域からの住宅移転数
施策1 ・感染拡大防止対策及び相談・検査体制等の確保 ・持続的な医療福祉サービス提供等に向けた体制確保	・くまもとメディカルネットワークに参加している県民数
施策2 ・生活への支援、子供の居場所の確保、差別・犯罪の防止 ・Society5.0の実現に向けたDXの推進 ・熊本への人の流れの創出(関係人口、移住定住)	・子供の居場所の数 ・効率化した県の業務数 ・県外からの移住者数
施策3 ・企業や雇用の維持及び労働環境の整備(テレワーク、UIターン、多様な人材) ・新しいビジネスの創出(業態転換、事業承継、熊本型企業誘致) ・農林水産業の持続的発展(スマート化、担い手確保、ブランド力向上・販路開拓) ・新たな観光スタイルの確立(顔認証やMaaS等スマートツーリズム、ワーケーション等)	・UIターン就職者数 ・外国人材受入人数(農業) ・企業立地件数 ・農林水産物等の輸出額 ・延べ宿泊者数
施策1 ・「すまい」の再建、被災企業の事業再建	-
施策2 ・益城町の復興まちづくり(土地区画整理事業、県道熊本高森線4車線化) ・くまもとの誇りの回復と宝の継承(熊本城、震災ミュージアム) ・阿蘇地域の振興(アクセスルート全線開通効果の最大化、南阿蘇村立野・黒川) ・「大空港構想」の実現(魅力ある空港づくり、空港アクセス、UXプロジェクト推進)	・益城町市街地部の人口回復率 ・熊本と阿蘇の交通量回復状況 ・UXプロジェクト参画企業・団体数
施策1 ・きめ細かな教育による学力の向上、グローバル人材の育成、魅力ある学校づくり	・全国学力・学習状況調査 ・中高生の英語力
施策2 ・若者の地元定着(ブライ企業、奨学金返還等サポート) ・産業人材の確保・育成(農林水産業、医療・介護、建設産業等)	・新規学卒者県内就職率 ・農林水産業、医療福祉、建設業の(新規)就業者数
施策3 ・子供を安心して産み、育てられる環境整備・誰もが安心して暮らせる地域づくり・一人ひとりが尊重され自分らしく暮らせる社会の創造	・結婚支援、不妊治療、早産予防に取り組む市町村数 ・交通事故死傷者数
施策4 ・交通体系の最適化・持続可能な地域づくり・スポーツによる地域活性化 (交通渋滞解消、CO ₂ 排出実質ゼロ、海洋プラスチックごみゼロ、有明海・八代海の海域環境改善)	・地域づくり事業の取組件数 ・再Eネ100宣言REAクション参加数

SDGsの理念に沿った取組みの推進